

第52号
平成25年
3月
HPに 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中央区出水4-25-1
096-364-7611
<http://yamadasu.com/>
熊本交通事故, 山田整骨院 検索
<http://www.jiko-kumamoto.net/>

学祖西勝造先生を偲ぶ号

昭和37年 11月号 月刊西医学

正しい吐き方 石坂 清重

昭和11年の8月のことである。西先生が米国からの招聘で渡米することになり、本部から私が随行することになった。8月21日午後3時、横浜出帆の郵船竜田丸に乗船した。西先生は23日には船長以下高級船員に、26日には一般船客に西式健康法を講演し、講演後私が六大法則を実演してみせるのである。ある日、大時化に会って、船客達は弱ってしまった。翌日、食堂に出たのは西先生と私と、外人二人の四人だけだった。その晩、西先生は船員並びに船客に対して、船酔いの吐き方の正しい方法を講義されて、感激させたものである。それにはまず、姿勢を正しくして、臍を押さえ、両耳の下から水平に引いた後すなわち嘔吐中枢を叩くと、気持ちよく吐き出せるというのである。海に吐く場合は良いが、できれば袋を用意して、吐くと思ったら袋を首にかけるのだと教えられた。

特志看護人として病院船に乗船して

佐藤：西会のベテランが病院船に乗って傷痍軍人の治療に当たったという話は古い会員からよくきかされるのですが…略…大体いつ頃ことですか

大久保：昭和12年の末から翌年の春にかけてです。特志看護人という名称で、陸軍の輸送部長松田卷平中将の指揮下に入ったもので、東京からは8人、香川と広島から各3名、その他全国から28名のベテランが乗船したのです。

佐藤：近藤さん お宅の健康機は何台提供されたのですか。

近藤：全部で33台、陸軍へ寄付したのです。病院船は19隻だったと記憶しています。略

佐藤：経過はどんなものでした。

大久保：現代医学で教育された軍医のいる病院船に、革命医学の反逆者達が乗り込むのですから、最初から骨の折れることはわかっていたのです。しかし傷痍軍人からは非常に感謝されて、下船後もあの機械に掛けてくれなどの注文があったものです。…略…

大久保：…略…若い軍医達の顔には不平の色がありありと読みとれるのです。…略…それやこれやで感情的なわだかまりが、爆発して乗船4ヶ月で、全員

下船の運命になったのでしょうか。…略…

平賀：略…現場の病院船の方はなごやかにはこばれたものです、このことは病院船の看護婦から運輸部の軍医の方へ送られる報告に、はっきり認められているのです。以下略

巢鴨刑務所内における講習会 魚谷徳一

…略…実際に敗戦の憂き目を、身をもって体験した、あの冷壁苦吟の長い長い八年間を…略…ただ一つ、これだけはどうしても忘れることができません。略…わたしという人間をすっかり土台から造り直してくれました。既にお察しのついたことと思いますが、それは巢鴨刑務所内で受講した西先生直伝の西医学講義であり、講演会だったのであります。忘れもしない昭和 27 年 11 月末のこと、病弱に悩む私の独房を訪れて、再三再四、西医学を熱心に説かれて…略…受講をすすめてくれた人が…略…藤原重義氏でありました。受講生の中には、元A級戦犯畑俊六元師、橋本欣五郎氏、現在、政界で活躍中の政調会長賀屋興宜氏も確かに聴講された…略。十二月中の一ヶ月、西先生のご来所を仰いで、しかも連日長時間にわたって受講いたしました。日を追うに随い、受講者の受講態度は異常なまでの空気の盛り上がりを見せて、真剣そのものであります。私は西医学の原理を諄々とお説き下さる西先生の温顔と、ユーモアを混じえたもの柔かい口調の奥に、何物にも動じない不撓不屈の闘魂と、何物にも迎合しない学問の厳しさをうかがいまして、自ら身体がしまり、息をつめ、手に汗して受講したことを憶えております。なお受講者一同を大いに驚嘆させ魅了しつくしたものは、西医学そのものであります。現代医学的な考え方しか持っていなかった我々の医学的常識を根底から覆えしました。世界に類のない健康科学、健康医学の一大体系を確立し、治病にのみ没頭する現代医学的方法に大鉄鎚を下し、医学革命を呼び起こして止まぬ、深遠偉大な学説でありました。…略…西会本部より、健康器、三種の真機、ミキサーなどの寄贈があり…略…刑務所当局と折衝し、…略…野菜の調理場、温冷浴場、機械室など…略…当局の寛大な取り計らいで、所内に立派に完備された健康道場ができ上がりました。野菜の消毒から洗浄、調理、分配、そして毎日二回機械にかけてやり、温冷浴の準備など、なにぶんにも百人以上の大世帯でありましたから、大変な労働でありましたが、お陰様で私は西医学で命を救われました。…以下略

解 説

正しい吐き方が学べてラッキーでした。西式の熟練者がボランティアで負傷軍人を治療したことは少しは知っていましたが、今回のような本格的活動とは知りませんでした。脚の負傷を西式は 毛管運動で直し、軍医は切断するというので西式の希望が多かった話を聞いています。戦犯収容の巢鴨刑務所で本格的な西式の道場が運営されていたのは驚きました。野菜というのは当然生野菜のことで、生食療法が出来、西式の機械運動療法が出来、温冷浴を行い、当然西式の体操もしたでしょうから、かなりの人が助かり健康体になったと確信します。魚谷先生は後年山口県西会会長として活躍され多くの人々を救済しました。